

臨床研究に関する公開情報

平成 30 年 6 月 20 日

下記の疫学研究は、京都大学医学部付属病院およびその関連施設で 2 型糖尿病を有する胃癌患者に対する幽門側胃切除後の再建法（ビルロート I 法あるいはルーワイ法）による術後の血糖コントロールの違いを明らかにするために、再建法と術後の糖尿病関連アウトカムの関係を探索的に調べ、最終的に胃癌患者の医療に貢献することを目的として計画されています。

本研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者（京都大学医学部付属病院 消化管外科）の管轄のもとに行われます。当院に記録される臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上で不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「2型糖尿病を有する胃癌患者に対する幽門側胃切除術後の消化管再建法の糖尿病経過への影響に関する多施設共同後ろ向き観察研究」

研究期間： 2005 年 7 月から 2017 年 8 月までを予定しています。

対象： 2005 年 7 月から 2016 年 12 月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて
臨床病期 I 期から III 期で胃癌手術を受けられ、術前に糖尿病をお持ちであった方

研究目的：

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、手術日、手術方法、術前情報、臨床所見、病理学的所見、合併症を含む術後情報、予後情報、その他の治療関連情報等があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者： 牧淳彦

兵庫県立尼崎総合医療センター 外科・消化器外科

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77

TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001